

学校番号104

千葉県立大多喜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イ、又はウのいずれかに該当する生徒

ア 中学校生活全般に積極的に取り組み、特に教科の学習の記録が優秀で、入学後も継続して、学習に努力できる生徒

イ 運動部又は文化部の活動において優れた実績・素質が認められ、入学後も継続して、その活動及び学習に努力できる生徒

ウ 特別活動やその他の活動において優れた実績が認められ、入学後はその体験を生かして意欲的に学校生活に取り組むことができる生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者4名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ30分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値に、ウ～オについて加点（上限120点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 総合的な学習の時間の記録	記載事項のうち顕著なものについては、総合的に判定する際の参考とする。
ウ 出欠の記録	3年間皆勤である場合は加点する。 3年間の欠席日数の合計が30日以上、または各学年で欠席20日以上の場合は、総合的に判定する際の参考とする。
エ 行動の記録	○の数の合計により加点する。
オ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、取得資格、その他の活動で、特に優れた内容と認められる記載がある場合は加点する。
カ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [60点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 自己理解と表現	自己についての的確に理解し、分かりやすく明確に説明することができる。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
エ 面接への姿勢	基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	120点	60点	$(815 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。